

平成27年度 長岡市三島郡特別活動部 活動報告

部長 長谷川 敏

1 研究主題

望ましい人間関係を形成し、よりよい生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育てる特別活動の工夫

2 研究の概要

上記の主題に基づき、児童生徒の活動分野を取り上げ、望ましい人間関係を築き、よりよい生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育てるための教師の指導や支援の在り方について、実践をとおして明らかにしていく。研究を進めるにあたっては、①会員が個人または共同で実践研究を進める。②研修会を開催し、研究協議をとおして研修を深める取組を行う。本年度は、年間3回の研修会を下記のように計画し開催した。

- (1) 第1回研修会 期日： 6月19日(金) 会場：長岡市立東中学校
内容：講演会 講師：元女子バレーボール全日本代表 山下美弥子 様
演題：「望ましい人間関係を形成し、
よりよい生活を築こうとする子どもを育てるには」
- (2) 第2回研修会 期日： 7月 9日(木) 会場：長岡市立希望が丘小学校
内容：授業研究会（3年生）
授業者：長岡市立希望が丘小学校 神林 一平 教諭
「めざせ、生き物いっぱいひまわり教室」
- (3) 第3回研修会 期日：10月15日(木) 会場：長岡市立希望が丘小学校
内容：授業研究会（5年生）
授業者：長岡市立希望が丘小学校 片桐 里香 教諭
「大根でおもてなし大作戦！
～天水田の師匠たちに感謝の気持ちを伝えよう～」

3 研究の実際

(1) 第1回研修会

「自分から縁を切らなければ、人と人の縁はつながる」という言葉が心に残る。人とのかかわりを大切にし、前向きに生きるお姿があった。子どもたちへの指導に対しても「伝える側があきらめなければ、いつか気付くときが来る」と信じ、「今できること」をされる講師の言葉に学ぶことが多い講演会であった。

(2) 第2回研修会

第2回目の研修会は、授業公開と協議会を実施した。授業は、集めた生き物を自然に戻すか、飼いつけるかを話し合いで決定するものであった。司会がそれぞれの意見と理由を聞いていくと、A子が「自然に戻すと言った人たちの中にもさびしいと言う人がいる」という意見を述べた。この対立する考えをうまくつなぐ発言が出た直後に授業者が「どちらも納得できる方法はないかな？」と子どもに問いかけた。まとめるための筋道の共有化が図られ集団決定につながる場面であった。

(3) 第3回研修会

第3回目の研修会も授業公開と協議会を実施した。ボランティアから学校田で米づくりのお手伝いをしてもらい、そのお礼に収穫祭で自分たちが作ったお米や大根などを使って、おもてなし料理を作るという内容であった。本時では、子どもたちが具体的にどのように作るのかを話し合い、その後、どうしたら感謝の気持ちが伝わるのか、について真剣に討議した。自分の考えにこだわりながらも、級友の考えのよさを認め合い、合意形成していった学級の雰囲気すばらしかった。

4 成果と課題

本年度も、授業研究会を行うことができた。子どもの活動を通して協議を深めることができ、大変有意義な研修となった。